

キャンドルサービス

場所	プレイホール・集いのホール・学習室 AB		
時間	1時間～2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	10～200人程度
準備物	【利用者】ライター、活動に適した服装、救急用品 (キャンドル 直径15～20mm) 【自然の家】材料(キャンドル10本・点火用トーチ3本・アルミカップ10枚、アルミホイル)、 燭台、防災シート、スクレーパー		

プログラムの概要・ねらい

キャンドルの火を輪になって囲むことで、参加者の連帯感や親睦を深めることができる。

内容によっては、キャンプ生活の導入や振り返りなどに用いることもできる。ねらいによって、内容や実施方法が大きく異なる。

①準備

サービスセンター受付で、燭台・材料を受け取る。
 垂れたロウを受けるために、アルミカップ(写真①)を載せる。
 防災シート(写真②)を広げ、その上に燭台を設置する。
 ※資料「キャンドルサービス実施手順(準備・片付け)」参照

②実施の流れ

キャンプファイアの雨プログラムとして用いられることが多いが、元々キャンドルサービスには「お祈り」という意味があり、キャンプファイアの火と比べ、厳かな雰囲気を出すことができる。最後の夜の振り返りプログラムとして、キャンドルサービスを用いることもできる。

- ※点火用トーチは太い方を持ち手にし、アルミホイルを巻いて持ち手を保護する。(写真③)
- ※一人一人がキャンドルを手を持つことは、安全面及び床へロウが垂れるため行わない。
- ※実施する部屋によって音響機器の設備が異なる。
 (資料「キャンドルサービス実施手順(準備・片付け)」参照)



<プレイホール>

<集いのホール>






<学習室AB>



③後片付け

備え付けの掃除用具で、床をモップがけする。
 資料「キャンドルサービス実施手順(準備・片付け)」参照
 ※部屋の清掃状況について、スタッフのチェックがあるので、サービスセンター受付へ連絡する。

キャンドルサービス実施手順（準備・片付け）

集いのホール		備考
	手 順	一人一人が手持ちのキャンドルで行うキャンドルサービスは原則、行うことができない。
実施前	燭台が入っている調整室は、スタッフが開けるので、サービスセンター受付に申し出る。 (自然の家でキャンドルサービスセットを購入した場合は、同時に受け取る)①	① 
	↓	
	スタッフが調整室から燭台を出す。② 燭台の下に防災シートを敷く。	② 
	↓	
	ろうそく立てにアルミカップを乗せ、キャンドルをセットする。③(ろうが垂れるのを防ぐ) トーチ用キャンドルにアルミホイルを巻く④	③ 
↓		
マイクの準備をする。 (操作盤は調整室内)	④ 	
↓		
電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 (備え付けの音響機器を使うこともできる)	⑤ 	※点火用トーチは 太い方を持ち手にして使用する。
↓		
キャンドルサービス 実 施		
↓		
アルミカップ、キャンドルを取り外す。 燭台についてのろうをスクレーパーで落とす。⑤		
↓		
床に垂れたろうの掃除をする。 (掃除道具は、調整室内に設置)		
↓		
部屋の清掃状況について スタッフのチェックを受ける。 (内線225番)		※使用したキャンドルは持ち帰り不要で あればケースと一緒にサービスセンター受付に返却。







実施前

実施後

※事前に消火器の位置をご確認ください。

※やけどにご注意ください。

キャンドルサービス実施手順（準備・片付け）

	プレイホール	学習室AB	備考
実施前	手 順		一人一人が手持ちのキャンドルで行うキャンドルサービスは原則、行うことができない。
	鍵をサービスセンター受付で借りる。(自然の家でキャンドルサービスセットを購入した場合は、同時に受け取る)①	鍵とパーテーションを開けるハンドルをサービスセンター受付で借りる。(自然の家でキャンドルサービスセットを購入した場合は、同時に受け取る)①	① 
	燭台をサービスセンター裏から運ぶ。(受付に申し出る)②③ 燭台の下に防災シートを敷く。		②  ③ 
	キャンドル立てにアルミカップを乗せ、キャンドルをセットする。④ (ロウが垂れるのを防ぐ) トーチ用キャンドルにアルミホイルを巻く。⑤		④  ⑤ 
	マイクの準備をする。 (操作盤は倉庫内およびCW右手側に設置)	電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 (備え付けの音響機器を使うこともできる)	電源の位置を確認し、音響等の準備を行う。 (備え付けの音響機器はなし)
	キャンドルサービス 実施		
実施後	アルミカップ、キャンドルを取り外す。 燭台についたロウをスクレーパーで落とす。⑥		※点火用トーチは太い方を 持ち手にして使用する。
	床に垂れたロウの掃除をする。 (掃除道具は、倉庫内に設置)	床に垂れたロウの掃除をする。 (掃除道具は、廊下に設置)	⑥ 
	部屋の清掃状況についてスタッフのチェックを受ける。 (内線225番)		
	鍵をサービスセンター受付へ 燭台はサービスセンター裏へ返却する。		※使用したキャンドルは持ち帰り不要であればケースと一緒にサービスセンター受付に返却。

※事前に消火器の位置をご確認ください。

※やけどにご注意ください。